

シリーズ③ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組みについて



大山西小学校

大山西小学校は、学力向上を目指して、本年度は次のような取り組みをしています。

1 学び方がわかる児童を育てる

日常の学習や家庭学習を進んで行い、楽しく授業に参加できることこそ、一人一人の学力を向上させる大きな要素であると考えます。まずは、どのように学習を進めたらよいかを知ることが大切です。

昨年度から始めた校内ノートコンクールは、友だちのノートを意識して見合うことで、学び方やまとめ方を学び合う目的をもっています。普段は見ることができない他の学年のノートから学ぶことも多いです。自学ノートの取り組みは、普段の学習のまとめのみならず、自分が興味を抱いたテーマを深く掘り下げて



▲自学ノート展
「こんなノートを作りたい！」

学び続ける良い機会となっております。

2 基礎的・基本的な力を身につける

全ての学びの基本となる「読む力」を伸ばす取り組みとして、学年別の音読を地域の方に聞いていただいています。学年に応じた内容の詩の朗読や百人一首の暗唱など、幅広い内容の音読をしています。家庭でも、毎日音読を聞いてもらっています。毎月の全校朝会では、一学年ずつ、

音読・群読発表をしています。文脈に応じたイントネーションや強弱の変化、人数をしばった表現など、工夫を凝らした発表が行われます。計算力や漢字を書く力についても、全校テストや学年での小テストを実施し、目標をもって学ぶことができます。指導しています。

3 仲間とともに学び合い自分の考えを伝え合う

学び合う「学習集団」として、みんなで創り上げる授業を目指しています。友だちと自分の思いや考えを伝え合える信頼関係が根底に必要です。毎学期行うカウンセリング週間、担任による日常生活指導、児童におきている問題の把握など、あらゆる機会を捉えて集団づくりをしています。

4 学びを支える様々な力

週二回、朝の始業前に行うモジュール学習は、脳の活性化を目的とした活動です。時間を区切ってできるだけ多くの計算問題に挑戦したり、詩の暗唱に取り組んだりしています。他学年のモジュール学習を見に行き、取り組みの真剣さや表現の多彩さなど、学び合うモジュール交流も行っています。

(児童の声)

○六年生のモジュールは、声がかとてもはつきりしていて、聞いていて気持ち良かったです。私もあんなモジュールができたらなと思います。

○モジュールで集中したあとは、頭が起きたような気がして、やる気が出ます。いろいろな教科のモジュールをやってみたいです。

その他にも、スポーツキットズ委員会が中心に運営している毎日の「全校朝マラソン」、お互いの声を聴きながら心と歌声を響かせ合い、精いっぱい表現する「今月の歌」、フラーウィっぱい委員会が手入

れをしている四季の花があふれる「にこにこ花だん」など、それぞれの取り組みが、西小児童の体と心を豊かに育み、学力向上の基礎を創り上げています。



▲モジュール交流



▲強い心を育む朝マラソン